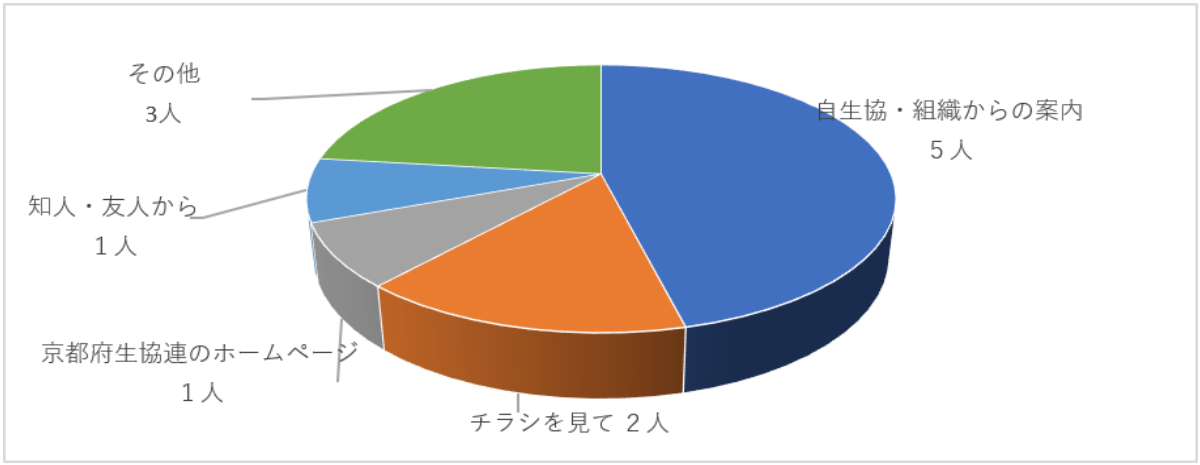
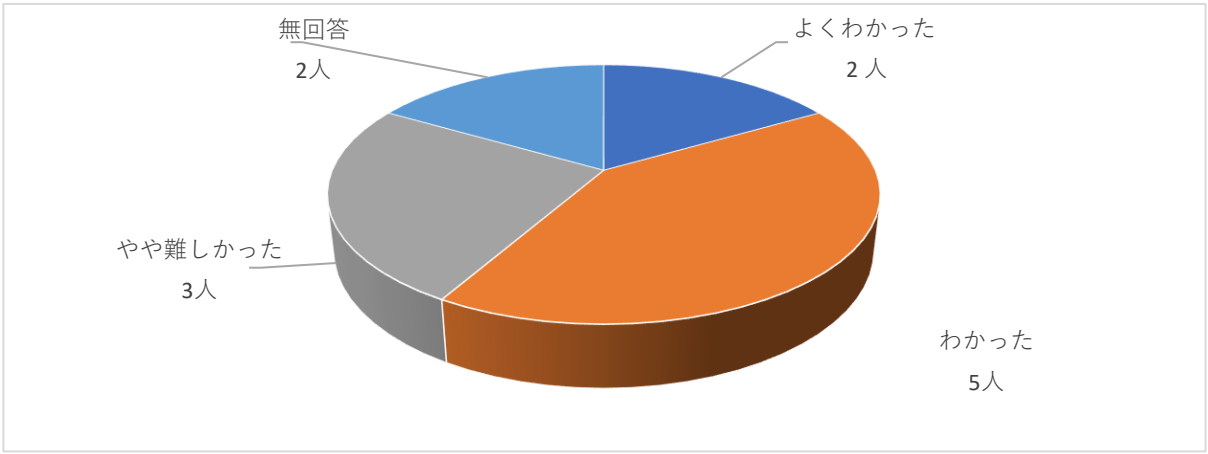
食の学習会　感想アンケートまとめ　　（回答12人）

この企画をどちらでお知りになりましたか？



講演「食べものから経済のしくみを解き明かす～食と農のこれからを考える～」についていかがでしたか？



講演のご感想やご意見についてお聞かせください
新しい視点を提起いただいた。社会資本やライフラインなども同じ問題を抱えていると思った。
Food　Policyについてもっと考えてみたいと思いました。
たくさんの情報をありがとうございました。「金儲けしない金」「基本的な人権」が確立されれば、多くの人が過ごしやすく、未来が明るくなると感じる。
価値は社会で決まる。という事だが、ケア労働、家事が無報酬状態である実態。女・子どもでもできるという考えがあり、ケア労働や家事の社会的価値が上がるようになるには？
「食と農」は生協がたいせつに扱うべきテーマであるので、有意義な企画でした。幅広いテーマを全体を俯瞰でとらえられるようにお話しいただいたように感じます。
食から私が何を選ぶかで環境が変わっていくと考えている。
農産物を商品として扱うことはしてほしくないと思う。
企業経営者こそが真剣に聞くべき内容と改めて感じました。

平賀先生のお話しは、とてもわかりやすく、普段モヤモヤしていることを言語化していただきスッキリとする内容でした。身近な農政を見ていても感じる事たくさんありますね。冒頭の資本主義である限り人や自然を搾取して（言い方は違っていました）拡大し続けるのは当たり前！というのも納得です。さあ、果たしてコモンが解決の糸口になるのか？お金でははかれない部分の大切さも学びました。イタリアのファーマーズマーケットの話しはもう少し聴いて見たかったです。書籍も購入しましたので読んで更に深めたいと思います。
先生のお話や著書の中で特に重要だと思った点は、私たち生活者一人ひとりが主役となり、自分たちの経済・社会・文化・政治・自然環境を主体的につくっていく仕組みとして、「社会的連帯経済」というオルタナティブな経済のあり方を具体化することである。 そのためには、すべてを国や政府に任せるのではなく、自治体の公共政策を見直し、地方自治体と市民が協働して地域を支える仕組みをつくることが重要で、その際、公的資金による支援も不可欠である。そして、食、ケア（福祉・介護）、再生可能エネルギーといった生活の基盤となる分野を地域に根ざして運営し、人々が支え合う多元的な経済を育てていくことが目標である。 その第一歩として最も取り組みやすく、人と地域を結びつける力をもつ「食と農」を起点に、このような社会的連帯経済を実現できるのではないかと希望を持った。
食を通じて社会のあらゆる問題、課題、事象がすべて連関していることが良く分かりました。それゆえ、食を通じて社会を変えていくことをお話しするには広く社会の事象に触れる必要があり、それゆえ短時間の講演時間にもかかわらず分かりやすく幅広く触れていただけたのだと感じました。「需要の定義」は「なるほど、たしかに」と唸りました。胃袋が必要としている量ではなく、貨幣で購入することを前提としている量なんですよね。商品食料とそうではない(贈与・返礼など）の非商品食料の割合が30%対70%ということに驚きました。確かに食料が商品として資本主義経済に組み込まれたのは日本でも歴史は浅いということを思い出しました（米などの貨幣の意味での位置付けは除いて）。共感コミュニティ通貨。資本主義に毒された通貨ではない通貨のことに興味が惹かれました。交換様式Dのことをもっと詳しく知りたくなりました。「食べることは社会全体の問題」の言葉に、この社会を改良する方向性と協同組合が結びついていく可能性や原理があるのではないかと感じました。
「食と農」について考える論点・視点を深めるうえで有意義なお話であった。
生きるために欠かすことのできない食べるということが個人の力でコントロールできない「食べる」という行為が自分の力でコントロールできない、今、そんな社会になっていることを改めてきづかされた。ではどうすればいいか。今日のお話をきいて今までよりさらにわからなくなった。できることから小さくてもやっていくしかないということだが、それしかないのかともやもやする。コモンはコミュニティから。。まずは自分の周り、地域や職場などから小さなコミュニティで実践していくことだとは思うのだが、果たして間に合うのでしょうか。悲観的になってしまった。お話の内容は歴史から事例まで幅広い内容だったので、ついていくのがやっとだった。もう少し詳しいレジュメを配布いただけるとわかりやすかったかなと思った。
全体を通してのご感想・ご意見など、ご自由にお書きください
連続企画にしてほしいです。
講演の資料を用意して欲しかったです。
国民すべてがきちんと食べていける社会の形成のために生協ができることを、活動の方針にしっかり入れていってほしいです。
ありがとうございました。政策について色々と興味深かったです。
昔のようにご近所さんでおすそ分けしたりできるつながりを大切にしたい。
私自身の活動、ライフワークとしても、関わっていくべき事を再認識しました。ありがとうございました。

グループ討論がどうしても中途半端なものになってしまうようだが、必要なことなのだろうと思う。
今回、参加者は少なかったですが、私の参加したグループの皆さんは、それぞれ問題意識を持ってヒントを見つけに来られていました。もう少し時間があれば深い論議ができたのではとちょっぴり残念に思っています。しかし、とても良い学びの機会をありがとうございました。
とても貴重で学び多い学習会を企画していただき、ありがとうございました。
参加者はある程度経験も豊かで問題意識をお持ちの方が多かったように思う。グループワークでは、ご自分たちの立場から活発に発言されて議論は深まったかと思うが、やはり結論はでない問題なんだなと感じた。今日のお話は実際に生協で働く職員や組合員でも、初めて聞く内容もあるかと思うので、機会があればもう少したくさんの人に聞いてもらいたい内容だった。